

医学部長の任期も半年となった 2000 年の後半、医学部に財団法人をつくることにしました。目的は資金を集め、医学部の教育、研究、学会、地域活動、海外派遣などを支援することです。また、国立大学の法人化がいろいろ話題になり始めてもいましたので、医学部に少しでも多くの資金があることは重要だと判断しました。急ぎ資料を集め財団の設立に着手しましたが、私には法律的な知識がありませんので立ち往生でした。

でも、当時の医学部の野間総務課長さんが、関係官庁に素早く相談してくれ、見通しが立ってきました。野間さんの働きがなければ財団はつくれなかったでしょう。優秀な人材の存在を痛感しました。今も感謝しています。

財団設立の趣意書は私が書きましたが、素人の私の書いたものは官庁向きではなく幼稚だったのでしょう。県庁の若い職員が親切に書き直してくれました。またも、優秀な人材との出会いです。私の熱い思いが彼に伝わったのではないかと思います。

後は財団の資金集めです。現職の教授を始め、名誉教授、医学部同窓会から寄付を頂きましたが、それだけでは不足です。財団の理事長になっていただく大藤元岡山大学学長と岡山の財界にお願いに回りました。なりふりをかまわずのお願いです。少し歩行が不自由になられていた大藤先生が先頭に立ってくれました。いま考えると恥ずかしいのですが、よくも厚かましく財界のお偉方に遠慮もなく押し掛けたものだと思えています。でも、何かやるときは狂気のような状態にならなければ、達成できないのではないかと思います。幸い、半年で財団設立に必要な基金と、2 年間の運営資金を集めることができ、2001 年に財団を設立することができました。この設立の過程は、まさに、「夢、ひと、金、そして燃える」でしたが、私は燃えるより、狂気になって走り回ったように思います。

ちなみに、2020 年までの助成件数は、教育 41 件、研究 243 件、地域交流・連携 122 件、国際交流 26 件、計 432 件です。毎年、財団にご寄付をお寄せ下さる方々の温かいご支援に心から感謝いたしています。